

家庭学習のすすめ

宇都宮市立陽北中学校

本校では、本年度の「陽北地域学校園教育ビジョン」の学習指導に関する重点目標を次のように掲げています。

学習の基盤となる態度や家庭学習(自主学習)習慣の育成と、
対話的で深い学びを通した「思考・判断・表現力の向上」(学力の向上)

とりわけ前半部分の目標を達成させるためには、「家庭学習の充実」が必要と考え、積極的に推進してまいります。生徒の皆さんは、その目的をしっかりと自覚して取り組み、望ましい学習習慣を身に付けてください。

1. 家庭学習の目的

皆さんが学習内容を確実に定着させるには、「**予習→授業→復習**」の**学習サイクル**が必要となります。家庭学習は、**授業に臨むための準備**であり、**授業後の確認**の場だと捉えることができます。

自分で学習する内容を選ぶ「学び方」を身に付ける一つでもあり、自分でコツコツと学習を積み重ねていくことで、自信や手応えを感じてほしいと願っています。

家庭学習は**継続**することで**効果が現れます**。

2. 家庭学習時間の目安(1日)

1年生・・・1時間30分以上
2年生・・・2時間以上
3年生・・・2時間30分以上



これらの目安は、宇都宮市のスタンダードな数値です。

3. 家庭学習に取り組む姿勢

- (1) 自分からすすんで家庭学習に取り組む。
- (2) 時間を決めて毎日家庭学習に取り組む。
- (3) わからないところは、教科書・資料集等を活用して解決する。
- (4) 自分のための家庭学習とする。

4. 家庭学習の具体的な方法

- (1) 毎日、最低でもノート1ページ分をむだなく使い切りましょう。
- (2) 学習した「日付」と「テーマ」を必ず記入しましょう。
- (3) 月曜日は、金・土・日の3日分を提出しましょう。
- (4) 登校したら、朝の読書の前に指定のカゴに提出しましょう。
- (5) 学芸委員が中心となって、全員提出を目指した声掛けをしましょう。
- (6) 提出・返却後、チェックしていただいたことを確認し、次に生かしましょう。
- (7) 級友の勉強方法やノートの使い方の良いと思ったことは、真似をしてみましょう。
[※各学年・各学級の「ベストノート」を月ごとに選出し、掲示します。
また、クラスノートを参考にしてください]
- (8) 5教科をバランス良く学習しましょう。



5. 家庭学習のポイント

- (1) 生活リズムを整える。(早寝・早起き、テレビ(動画)視聴やゲーム時間の制限)
- (2) 学習計画を立てる。(実行できる内容と時間の設定)
- (3) 学ぶ雰囲気をつくる。(学習に集中できる環境に身を置く)
- (4) 努力を認め励ます。(やり遂げた実感・向上した点の自覚・次への意欲)

6. 5教科の学習内容例

	具 体 的 な 内 容
予 習	○教科書を読み、次時の学習内容を知る。 ○次時の学習内容のワークを解く。分からない点は、調べる。 ○新出語句・重要語句等の意味を教科書・資料集・辞書等で調べる。 ○わからない点（疑問点）を明確にし、質問の準備をする。
復 習	○確認の意味で教科書を読み、学習内容をもう一度振り返る。 ○ノートに自分の意見をつけ足したり、コメント等を書き足したりする。 ○学習内容のワークを解く。日を改めて、再度ワークを解く。 ○資料集を読み、学習内容の理解を深め、興味・関心を高める。
国 語	○漢字や語句は漢字ワークを使用して予習、復習に活用する。 ○読み取りや文法、語句については国語ワークを使用して予習、復習に活用する。 ○新しい教材文に入るときは、教科書の本文を読み、わからない語句や難しい語句については、個人用パソコンや辞書等を使い、意味調べを行う。（予習） ◎テスト後は、間違えたところを確認したり、分析したりして解き直しをする。 ○読書を習慣化することで語彙を広げ、言語感覚を豊かにしようという意識をもち生活する。
社 会	○大まかな歴史の流れ、地理的・歴史的事象の説明ができるようにするため、必要な語句はきちんと意味を理解し、自分のことばで書けるようにする。 ○歴史的分野は「自分で年表を作成する」、地理的分野は「自分で地図を描き、必要なことを書きこむ」、公民的分野は「人権や政治、経済、国際社会に関するニュースで出てきた語句を調べる」などの学習方法に取り組んでみる。 ○授業で気になったことを調べたり、ノートなどをまとめ直したりする。 ○気になる新聞記事やニュースについて調べ、自分の考えを述べる。 ○ワークなどの問題をくり返し解き、基礎的・基本的な事柄を理解する。
数 学	○予習～教科書に解説付きで例題が載っています。この解説を見ながら例題を解きます。もし解説を読んでもわからなかったら、わからない部分に線を引いておく。そこを次の日の授業で注意深く聴くようにする。 ○復習～授業で学習した内容を、その日のうちに問題集で復習する。できなかったところを繰り返し練習し、解き方・考え方を覚える。 ○計算練習は、<u>途中式</u>もきちんと書いて練習するようにする。 →見やすく効率的な途中式を書きましょう。途中式も練習が必要です。 ○授業で解いた問題、問題集、テストの問題で間違えたところは、根気強くくり返し練習するようにする。 ○AIドリルを活用し、苦手分野の克服に役立てる。
理 科	○教科書の内容をまとめ直したり、ワークで練習問題を解いたり、繰り返し触れる。 ○語句は、その意味をセットで理解するために、自分の言葉や図で説明してみる。 ○記述問題は、必要な語句や文末表現などの細部を比較し、違いを修正する。 ○計算や思考問題は、解き方の過程を理解する。自分の解き方を記録しておいて誤りを指摘する。問題集の解き方解説を写すなどの工夫をする。 ○まずは自分の力で問題を解き、丸付けで考え方を修正するという習慣をつける。
英 語	○教科書・ワークのQRコードを活用した、聞く・話すの練習。 ○教科書本文（基本文だけでも）をノートに書く。 ○単語練習を発音しながら書く。書けるようになったか自分でテストする。 ○ワークブック問題を何度も繰り返し解く。1回目はノート2回目はワークなど。 ○個人用パソコンで音声入力を行い、それを英語に切り換えて発音の練習をする。